

暖房器具からの火災を防ごう！

金沢市消防局

寒さが増し暖房器具を使う機会が多くなる季節、誤った暖房器具の取扱いが『思わぬ事故』につながる可能性があります。

安全な取扱い方法をしっかりと確認し、寒い時期を安全で快適に過ごしましょう。

1 暖房器具で洗濯物を乾かすのはやめましょう。

- ストープの上に洗濯物を干していませんか？
- 洗濯物が乾くとストーブの上に落下し、火災になるおそれがあります。
- こたつの中で洗濯物を乾燥中、洗濯物がヒーターに接触したため、火災になったケースもあります。



2 給油は必ず火を消してから行い、 給油キャップは確実に締めましょう。

- 火を消してから給油していますか？
- 給油タンクキャップの締め方が不十分な場合、灯油が漏れて火災になるおそれがあります。



3 給油の際には色を確認し、誤給油を防ぎましょう。

※灯油は無色透明で、ガソリンには赤い色が付いています。

- ガソリンなど間違った種類の燃料を使用してませんか？
- 暖房器具にガソリンを誤給油すると火災になるおそれがあります。



4 就寝時や外出時は、暖房器具のスイッチを切る習慣をつけましょう。

- ふとんの近くで暖房器具を使用していませんか？
- 就寝中にふとんなどが暖房器具に接触し、火災になるおそれがあります。



5 暖房器具は壁等から離し、カーテンの近くは避けましょう。

- 壁際やカーテンの近くで暖房器具を使用していませんか？
- 壁に貼られているポスター等が落下したり、風にあおられたカーテンが暖房器具に接触したりすることにより、火災になるおそれがあります。



万が一火災になった時には、煙を感知して警報音で知らせてくれる住宅用火災警報器が私たちの命と財産を守るためにとても有効です。火災を早期に知って初期消火や通報を行い、いち早く避難するためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう！！